

養父市地域おこし協力隊 活動報告

自己紹介

内山 祐紀（うちやま ひろのり）

1987年 神戸市生まれ。

立命館大学経済学部卒業。

東京の繊維専門商社の(株)サンマリノ（25年6月期 売上236億円）に就職。

営業。次長職を担当。

在職時、営業部の責任者として30名の部下を担当、売上予算 30億/ 年を管理。イタリア アシッジに事務所を設立、静岡県島田市に(株)ウールスタジオを設立。



To Twenty Two century



令和4年12月 前職の(株)サンマリノ退職

令和5年

1月 養父市地域おこし協力隊 着任

十二所のアパートで一人暮らし

3月 東京より、妻、子二人引っ越し

上薮崎の古民家に引っ越し

令和6年

3月 株式会社 T3設立

令和7年12月 養父市地域おこし協力隊 退任

活動報告～志望書類 活動計画編～

② 活動の計画 ※箇条書き可（必要であれば、資料等を添付してください。）
○自伐型林業の計画について
自伐型林業で安全に成果を残すためにしっかり基礎を勉強し、一人前になれるように取り組みたいと考えています。
その為には初めにお世話になる企業様と先に活動されている先輩のご指導を頂き、チェーンソーやバックホウの基礎をしっかりと学びたく考えています。
ついて、興味を持って接したいと考えています。
気惑で感じたことを使の中に分かりやすく伝えることが出来れば素敵だと考えています。
また、私自身が長期的に取り組みたい分野のバイオマス燃料や、バイオ炭についても見識を広げ、独立後、事業として取り組める準備をしたいと考えています。
具体的には最長3年間の活動だと仮定した場合、最初の一年間で基礎を学び、2年目から自立して自伐型林業の取り組み。
3年目については活動終了後の独立を視野に入れて生活として成り立つ自伐型林業を考えながら、実践できればと考えています。
自伐型林業のノウハウが身につく、関係者の皆様に山を任せて頂けるとの判断がもしあった場合は活動期間を早く終了し、独立して自伐型林業を生業として取り組みたいと考えています。
○地域との関わりについて
都市と異なり、地域の皆様の関係が特に大切だと思います。当たり前ですが、地域の方々と積極的にコミュニケーションを取り、名前と顔を覚えてもらいたいです。
高齢者が多いということもありますので生活でお困りのことがあり、若さと体力、時間で対応できることがあれば率先して取り組みたいです。
家族においては社交性のある方だと思いますので、最初は辛い思いをするかもしれませんが、早い段階で環境と地域の皆様へ届け込めることが出来るかと思っております。
子については2人いますが、都市だと表層部分しか知ることが出来ない物事を本質に触れて学び、存分に自然相手に遊んでほしいと考えています。
地域発信、域外へ貢献できる取り組みについては自分自身が小学生の時訪れたハチ高原の自然学校の様に、
地域おこし協力隊の活動の中で得た経験や、自然学校やグリーンツーリズムなどの環境教育プログラムにも参加し域外の人々に伝えていければ嬉しいです。
また、食についても興味があり、農業分野で地域内でボランティア等あれば参加し食物についての知見も広げ、地域の皆様との結びつきを強くできればと考えております。
養父市には古くからの歴史や伝統文化が残されていると聞いています。自分自身も経験したいと考えております。
そのためには課せられた範囲以外の活動や地域でのイベントに積極的に参加し、都市生活では得られない人との繋がりを作り、感じたいと思っています。
日々の暮らし中での気付きと行動を大切にして私たち家族一同を包み込んでくれた地域の皆様へ恩返ししたく考えています。



② 活動の計画 ※箇条書き可（必要であれば、資料等を添付してください。）
○自伐型林業の計画について
自伐型林業で安全に成果を残すためにしっかり基礎を勉強し、一人前になれるように取り組みたいと考えています。
その為には初めにお世話になる企業様と先に活動されている先輩のご指導を頂き、チェーンソーやバックホウの基礎をしっかりと学びたく考えています。



上垣林業様の指導の下、研修。
令和5年2月に鳥取県智頭町にてチェーンソーによる伐木等特別教育、
8月に養父市にて小型車両系建設機械(3t未満)の運転の業務に係る特別
教育を修了。

To Twenty Two century

活動報告～志望書類 活動計画編～

② 活動の計画（申請書書き可（必要であれば、資料等を添付してください。））
○自伐型林業の計画について
自伐型林業で安全に成業を残すためにしっかり基礎を勉強し、一人前になれるように取り組みたいと考えています。
その為には初めにお世話になる企業様と先に活動されている先輩のご指導を頂き、チェーンソーやバックホウの基礎をしっかりと学びたく考えています。
自然相手のお仕事になるため、自分が活動するフィールドとなる山や草木のこと、そこで生息する生き物のことなどについて、興味を持って接したいと考えています。
実際に感じたことを使の中に分かりやすく伝えることが出来れば素敵だと考えています。
また、私自身が長期的に取り組みたい分野のバイオマス燃料や、バイオ炭についても見識を広げ、独立後、事業として取り組める準備をしたいと考えています。
具体的には最長3年間の活動だと仮定した場合、最初の一年間で基礎を学び、2年目から自立して自伐型林業の取り組み、
3年目については活動終了後の独立を視野に入れて生活として成り立つ自伐型林業を考えながら、実践できればと考えています。
自伐型林業のノウハウが身につき、関係者の皆様に山を任して頂けるとの判断がもしあった場合は活動期間を早く終了し、独立して自伐型林業を生業として取り組みたいと考えています。
○地域との関わりについて
都市と異なり、地域の皆様の関係が特に大切だと思います。当たり前ですが、地域の方々と積極的にコミュニケーションを取り、名前と顔を覚えてもらいたいです。
高齢者が多いということもありますので生活でお困りのことがあり、若さと体力、時間で対応できることがあれば率先して取り組みたいです。
家族においては社交性のある方だと思いますので、最初は辛い思いをするかもしれませんが、早い段階で環境と地域の皆様に溶け込めることが出来るかと思っています。
子については2人いますが、都市だと表層部分しか知ることが出来ない物事を本質に触れて学び、存分に自然相手に遊んでほしいと考えています。
地域発信、域外へ貢献できる取り組みについては自分自身が小学生の時訪れたハチ高原の自然学校の様に、
地域おこし協力隊の活動の中で得た経験や、自然学校やグリーンツーリズムなどの環境教育プログラムにも参加し域外の人々に伝えていければ嬉しいです。
また、食についても興味があり、農業分野で地域内でボランティア等あれば参加し食物についての知見も広げ、地域の皆様との結びつきを強くできればと考えております。
歴史市には古くからの歴史や伝統文化が数多く継承されていると聞いています。自分自身も経験したいと考えております。
そのためには選せられた範囲以外の活動や地域でのイベントに積極的に参加し、都市生活では得られない人との繋がりを作り、感じたいと思っています。
日々の暮らし中での気付きと行動を大切にしたいと家族一同を思い入れてくれた地域の皆様に恩返ししたく考えています。



また、私自身が長期的に取り組みたい分野のバイオマス燃料や、バイオ炭についても見識を広げ、独立後、事業として取り組める準備をしたいと考えています。
具体的には最長3年間の活動だと仮定した場合、最初の一年間で基礎を学び、2年目から自立して自伐型林業の取り組み、
3年目については活動終了後の独立を視野に入れて生活として成り立つ自伐型林業を考えながら、実践できればと考えています。
自伐型林業のノウハウが身につき、関係者の皆様に山を任して頂けるとの判断がもしあった場合は活動期間を早く終了し、独立して自伐型林業を生業として取り組みたいと考えています。



自伐型林業は1年目はトガ山での作業道開設研修や但馬やまもり施業地 大屋町大杉での活動、2年目以降は若杉高原や広谷での活動。
将来的な施業地は広谷区所有(約12ha)の山林、大屋町宮本区所有(約50ha)の山林での活動を予定。
バイオ炭については次項参照。

To Twenty Two century

木々の力で、アナログな手段で温暖化対策に取り組む。

何故、炭にすれば温暖化対策になるのか。

木が成長過程で、二酸化炭素と水を用いて行う光合成。酸素を放出する。木に取り込まれた二酸化炭素は有機物として体に固定されます。これを炭素固定といいます。元気な樹木は光合成を行う日中は二酸化炭素を吸収し、酸素を放出。一方枯れ

た樹木は微生物の作用などで原因で、有機物が分解され、固定化されていた炭素が二酸化炭素として再放出されます。木が生まれてから死んで分解されるまでの過程で二酸化炭素の吸収量と放出量は同じになります。樹木を炭化する事で木材中

の炭素が固形物の炭素(グラフアイト)になり、空気中に再放出されることが防げます。つまり、木材を炭化することにより、本来出るはずの二酸化炭素が出なくなり、削減に成功したことになります。これがカーボンマイナスです。(分解炭、炭化炭素は発生するが底に近い部分は炭素と結びつかず炭化し、炭素が固定物として残る。)

兵庫県養父市で私達が作るバイオ炭とは。

私達は自伐型林業という形で仕事をしています。主な仕事は人工林の山に入り、木を間引きする間伐作業を行っています。間伐した木の幹の部分は市場で取引され、また、木質バイオマス燃焼としてチップとしても使用されます。しかしながら丸

太から切り離された枝の部分は山林に放置されることがほとんどです。その枝にも二酸化炭素が固定化されていて、いずれ固定化されていた炭素が微生物に分解され二酸化炭素として放出されます。私達が作るバイオ炭とは兵庫

県養父市内での林業に出た枝を集めて自分たちで炭化作業を行い、バイオ炭にしています。作り手の顔が見える安心、安全なモノづくりを行っています。また、私達が作るバイオ炭は「日本バイオ炭普及会発行品質証明書付バイオ炭」となっている。炭化の過程で一部の樹木から二酸化炭素は発生するが底に近い部分は炭素と結びつかず炭化し、炭素が固定物として残る。バイオ炭とは生物資源を無酸素または低酸素条件下で350℃以上熱分解反応で作られた環境の改善に効果ある炭化物のことを言います。木を炭化する

バイオ炭づくりを始めたワケ。

2017年頃から世界規模で発生している森林火災や自然災害を免れ、地球温暖化問題に関心をもち、このまま自分たちの世代で地球が壊れてしまふと危機感を持ち始める。慈善事業では継続的に成り立つことが難しいと思い、資本主義経済の中、事業として取り組む必要性を感じ、何か取り組めることがないか思索を始める。

当時、動いていた商社の退場を考えたが、コロナウイルスが世界大流行、コロナ禍に突入。勤めていた会社の業績悪化、立て直しが必要となり、その後3年間は会社の立て直しに専念、業績が回復したことから2020年12月に同社を退職、兼ねてより関心にあった地球温暖化問題に対し、人任せではなく自分が取り組むべきだと考え、川上である一度産廃から変わらなければ本質的な温暖化対策にアプローチできないと考え、農・林・水でできることとはなにかと検討し、その中で

もブレイカーの少なく、比較的低コストで取り組める林業に注目。自然の力を使い、木が成長過程で蓄える二酸化炭素に注目し、バイオ炭と自伐型林業の存在を知る。この環境に配慮した2台のエコシステムを組合せし新たな環境価値を生み出すことが出来ないかを、提案・研究、実践するために兵庫県養父市に移住。自伐型林業を行いながら未使用間伐の枝を用いてバイオ炭製造を始める。



↑倒した木の枝を幹と切り離す



↑枝を集めている内山氏



↑木炭を製造している様子

バイオ炭の効果と使い方。

私達が作るバイオ炭は養父市内で収集した杉・檜の針葉樹や広葉樹の未使用部分を加工しています。これらで木炭を製造します。

木炭には、顕微鏡で見るとたくさんの小さな穴があります。これは「多孔質」という性質で、これが水分や物質の吸着能力を生み出し、住宅の床下の湿度調整、室内の消臭、有害化学物質の吸着等に効果を発揮します。

また、微細な穴は、微生物の住み家となり土壌改良や排水の連作障害を回復させるなど、農作物の生育を助ける働きもします。木炭の質的な吸着性は、黒炭で1g当たり200〜300mlと広い表面積を有することから生み出されます。*参照元 林野庁のHPより。

土壌改良の効果としてはアルカリ性土で粘土質の土壌改良に優れています。炭

は土壌中の水分を保持する効果があり、植物の成長を促進することが出来ます。ただし、炭を使用する場合は適切な量を使用することが重要で、植物の種類や炭の種類に応じた使用方法を確認することが必要です。

炭の使い方として土壌に混ぜる場合は効果としては植物の根が炭に絡めることで、炭の吸着力や通気性の効果を最大限に発揮することが出来ます。炭を使う際の注意点は、適切な量を使用することです。炭は、土壌の通気性を改善したり、水分や栄養素を保持する効果があります。しかしながら、炭を使用する量が多すぎると、土壌中の水分や栄養素が炭に吸収され、植物に不足の原因になることがあります。



活動報告～志望書類 活動計画編～

② 活動の計画（事前調査可（必要であれば、資料等を添付してください。））
○自伐型林業の計画について
自伐型林業で安全に成業を残すためにしっかり基礎を勉強し、一人前になれるように取り組みたいと考えています。
その為には初めにお世話になる企業様と先に活動されている先輩のご指導を頂き、チェーンソーやバックホウの基礎をしっかりと学びたく考えています。
自然相手のお仕事になるため、自分が活動するフィールドとなる山や草木のこと、そこで生息する生き物のことなどについて、興味を持って接したいと考えています。
気候を感じたことを使の中に分かりやすく伝えることが出来れば素敵だと考えています。
また、私自身が長期的に取り組みたい分野のバイオマス燃料や、バイオ炭についても見識を広げ、独立後、事業として取り組める準備をしたいと考えています。
具体的には最長3年間の活動だと仮定した場合、最初の一年間で基礎を学び、2年目から自立して自伐型林業の取り組み。
3年目については活動終了後の独立を視野に入れて生活として成り立つ自伐型林業を考えながら、実践できればと考えています。
自伐型林業のノウハウが身につく、関係者の皆様に山を任せて頂けるとの判断がもしあった場合は活動期間を早く終了し、独立して自伐型林業を生業として取り組みたいと考えています。
○地域との関わりについて
都市と異なり、地域の皆様の関係が特に大切だと思います。当たり前ではございますが、地域の方々と積極的にコミュニケーションを取り、名前と顔を覚えてもらいたいです。
高齢者が多いということもありますので生活でお困りのことがあり、若さと体力、時間で対応できることがあれば率先して取り組みたいです。
家族においては社交性のある方だと思いますので、最初は辛い思いをするかもしれませんが、早い段階で環境と地域の皆様へ溶け込めることが出来るかと思っています。
子については2人いますが、都市だと表層部分しか知ることが出来ない物事を本質に触れて学び、存分に自然相手に遊んでほしいと考えています。
地域発信、域外へ貢献できる取り組みについては自分自身が小学生の時訪れた八千高原の自然学校の様に、
地域おこし協力隊の活動の中で得た経験や、自然学校やグリーンツーリズムなどの環境教育プログラムにも参加し域外の人々に伝えていければ嬉しいです。
また、食についても興味があり、農業分野で地域内でボランティア等あれば参加し食物についての知見も広げ、地域の皆様との結びつきを強くできればと考えております。
鹿文市には古くからの歴史や伝統文化が残され伝えられていると聞いています。自分自身も経験したいと考えております。
そのためには選せられた範囲以外の活動や地域でのイベントに積極的に参加し、都市生活では得られない人との繋がりを作り、感じたいと思っています。
日々の暮らし中での気付きと行動を大切にして私たち家族一同を癒えいてくれた地域の皆様へ恩返ししたく考えています。



○地域との関わりについて
都市と異なり、地域の皆様の関係が特に大切だと思います。当たり前ではございますが、地域の方々と積極的にコミュニケーションを取り、名前と顔を覚えてもらいたいです。
高齢者が多いということもありますので生活でお困りのことがあり、若さと体力、時間で対応できることがあれば率先して取り組みたいです。
家族においては社交性のある方だと思いますので、最初は辛い思いをするかもしれませんが、早い段階で環境と地域の皆様へ溶け込めることが出来るかと思っています。
子については2人いますが、都市だと表層部分しか知ることが出来ない物事を本質に触れて学び、存分に自然相手に遊んでほしいと考えています。



上薮崎の高齢者様の所有地の草刈りや剪定を年に数回、所有者が遠方にいる空き家の敷地の管理。積雪時には区内の雪かき。
消防団にも入り、養父方面隊第八分団に所属、啓もう活動や防災訓練などに参加。

活動報告～志望書類 活動計画編～

② 活動の計画（申請書書き可（必要であれば、資料等を添付してください。））
○自伐型林業の計画について
自伐型林業で安全に成業を残すためにしっかり基礎を勉強し、一人前になれるように取り組みたいと考えています。
その為には初めにお世話になる企業様と先に活動されている先輩のご指導を頂き、チェーンソーやバックホウの基礎をしっかりと学びたく考えています。
自然相手のお仕事になるため、自分が活動するフィールドとなる山や草木のこと、そこで生息する生き物のことなどについて、興味を持って接したいと考えています。
知感で感じたことを使の中に分かりやすく伝えることが出来れば素敵だと考えています。
また、私自身が長期的に取り組みたい分野のバイオマス燃料や、バイオ炭についても見識を広げ、独立後、事業として取り組める準備をしたいと考えています。
具体的には最長3年間の活動だと仮定した場合、最初の一年間で基礎を学び、2年目から自立して自伐型林業の取り組み。
3年目については活動終了後の後立を視野に入れて生活として成り立つ自伐型林業を考えながら、実践できればと考えています。
自伐型林業のノウハウが身に付き、関係者の皆様に山を任せて頂けるとの判断がもしあった場合、3年間の期間を早く終了し、独立して自伐型林業を生業として取り組みたいと考えています。
○地域との関わりについて
都市と異なり、地域の皆様の関係が特に大切だと思います。当たり前のことですが、地域の方々と積極的にコミュニケーションを取り、名前と顔を覚えてもらいたいです。
高齢者が多いということもありますので生活でお困りのことがあれば、心遣いと体力、時間で対応できることがあれば率先して取り組みたいです。
家庭においては社交性のある方だと思いますので、最初は少しづつお付き合いをするかもしれませんが、早い段階で環境と地域の皆様に溶け込めることが出来るかと思っています。
子については2人いますが、都市だと表層部分しか知らない、出来ない物事を本質に触れて学び、存分に自然相手に遊んでほしいと考えています。
地域発信、域外へ貢献できる取り組みについては自分自身が小学生の時訪れたハチ高原の自然学校の様に、
地域おこし協力隊の活動の中で得た経験や、自然学校やグリーンツーリズムなどの環境教育プログラムにも参加し域外へ発信していきたいと考えています。
また、食についても興味があり、農業分野で地域内でボランティア等あれば参加し食物についての知見も広げ、地域の皆様との結びつきを強くできればと考えております。
養父市には古くからの歴史や伝統文化が残され伝承されていると聞いています。自分自身も経験したいと考えております。
そのためには課せられた範疇以外の活動や地域でのイベントに積極的に参加し、都市生活では得られない人との繋がりを作り、感じたいと思っています。
日々の暮らし中での気付きと行動を大切にして私たち家族一同を迎え入れてくれた地域の皆様へ恩返ししたく考えています。

また、食についても興味があり、農業分野で地域内でボランティア等あれば参加し食物についての知見も広げ、地域の皆様との結びつきを強くできればと考えております。

養父市には古くからの歴史や伝統文化が残され伝承されていると聞いています。自分自身も経験したいと考えております。

そのためには課せられた範疇以外の活動や地域でのイベントに積極的に参加し、都市生活では得られない人との繋がりを作り、感じたいと思っています。

日々の暮らし中での気付きと行動を大切にして私たち家族一同を迎え入れてくれた地域の皆様へ恩返ししたく考えています。



令和5年度おおや有機農業の学校に入学。
有機農業を学術面、実習を通して学び、家庭菜園でもだいこんやジャガイモで実践。

たまたま住んでいた組がお祭り当番の当たり年。
地区のお祭りの準備や片付け、令和7年度、子供会会長になり、初午や地蔵盆などの運営に参加。

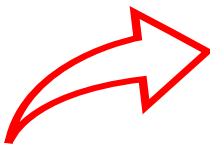
養父小自治協主催の子ども食堂に、
複数回参加。
令和6年度たいようこども園PTA会長。



To Twenty Two century

活動報告～志望書類 活動終了後の自分～

③ 活動終了後の自分（養父市での起業、就業等について、考え方を記入ください）
○起業について
起業後の取組は3つで考えております。 ①自伐型林業 ②バイオマス燃料・炭の生産と販売 ③家畜飼育になります。
①自伐型林業について 自伐型林業にて市の斡旋を受けて任された山で間伐、林道の作成に勤しみたいと考えております。
一人で出来ない作業も多いかと存じます。仲間を集めて一緒に取り組み、任された山を長期的に手入れし、良い材が産出できる森林に育てたいと考えています。
市場に出た材で山主様の収入として貢献したく考えております。日本の木材は中国や台湾などで人気があると聞いております。
輸出にて商機のある良い材が作れるようになれば、貿易に携わってきた経験を活かし、木材の輸出に挑戦できればと考えています。
②バイオマス燃料・炭の生産と販売について 間伐に際して出る端材、廃材も余すことなくバイオマス燃料や炭材に変えて、少しでも炭素を出さない仕組みの自伐型林業の形を作りたいと考えております。
特に取り組みたいのは端材、廃材でのバイオ炭の生産と販売です。バイオ炭を農家様へ販売することにより、農家様は「クレジットの炭素量取引」に使用でき、私の目的である『炭素を固定化する』ということが叶うためです。
企業や大学の研究機関等で情報収集を行いながら、市の関係者様と連携し、『養父市モデル』と呼ばれるような自伐型林業から域内で炭素を固定化、炭素量取引で域外から資金が流入する仕組みと実績が作れば良いと考えています。
③災害対策 林道の作成、間伐はもちろん取り組んでいきますが、炭の保水力にも注目しております。木炭の表面積は重量以上の表面積があると聞いております。
生産した炭の容積量を利用して土壌の保水力を上げ、水害などの自然災害を減少することに寄与できる研究と開発に取り組む事が出来ればと考えています。
具体的には定住することになるため、30年間の長期計画で考えています。
起業後、5年以内に自伐型林業単体で資金面も含めて生活基盤を作り上げ、若者がやりたい職業として『自伐型林業』をメジャリーにする。
起業から10年以内で養父市モデルを完成させ、市内の自伐林業家を増やし、市内の雇用、域外への波及効果をもたらす。他地域の課題・問題解決の参考となるような取り組みをつくる。
10年以後は後継育成に取り組むと考えています。夢だけで言いますと、子孫が自分の手掛けた山を引き継ぎたいと思います。自伐型林業を職業として選んでもらえれば理想だと考えています。
○ライフスタイルについて
住環境については歴史のある住居が空き家として残っておりますので、使用できる部分を残し、リノベーションして住みたいと考えております。
自然に囲まれ、近くにスキー場などがあることから休日はその環境を存分に楽しみたいと考えています。学生時代の趣味のウィンタースポーツを家族で出来ればうれしい限りです。
最後になりますが、『地域おこし協力隊』を卒業した後は、養父市の『地域発信主力隊員』として長きにわたり、活躍できれば幸いです。
※応募用紙に記載された個人情報は、個人情報保護条例に基づき厳正に管理します。 ※募集を何で知りましたか。 <input type="checkbox"/> 養父市ホームページ <input type="checkbox"/> JOINホームページ <input checked="" type="checkbox"/> SMOUTホームページ <input type="checkbox"/> 新聞等 <input type="checkbox"/> その他（ ）



①自伐型林業について 自伐型林業にて市の斡旋を受けて任された山で間伐、林道の作成に勤しみたいと考えております。
一人で出来ない作業も多いかと存じます。仲間を集めて一緒に取り組み、任された山を長期的に手入れし、良い材が産出できる森林に育てたいと考えています。
市場に出た材で山主様の収入として貢献したく考えております。日本の木材は中国や台湾などで人気があると聞いております。
輸出にて商機のある良い材が作れるようになれば、貿易に携わってきた経験を活かし、木材の輸出に挑戦できればと考えています。



林業活性化センターの中尾様の全面協力のもと、広谷区所有の山林と宮本区所有の山林を確保。
広谷区所有の山林は、令和6年度は作業道開設199m、令和7年度は作業道開設650mの予定。
宮本区所有の山林は、施業地まで約1200mあり、
施業地までの森林整備センター管理の山については協議を行い、令和8-9年度中に
施業地までの作業道を開設予定。
輸出に関しては対アジア向けのスキームを乙仲さんと構築、が、ロシア・ウクライナ戦争を発端とする世界経済の先行き不透明により、現状頓挫中。



To Twenty Two century

活動報告～志望書類 活動終了後の自分～

③ 活動終了後の自分（養父市での起業、就業等について、考え方を記入ください。）

〇起業について

起業後の取組は3つで考えております。
①自伐型林業 ②バイオマス燃料・炭の生産と販売 ③災害対策になります。

①自伐型林業について
自伐型林業にて市の斫旋を受けて任された山で間伐、林道の作成に動じみたいと考えております。

一人で出来ない作業も多いかと存じます。仲間を集めて一緒に取り組み、任された山を長期的に手入れし、良い材が
出できる森林に育てたいと考えています。

市場に出た材で山主様の収入として貢献したく考えております。日本の木材は中国や台湾などで人気があると聞いてお
ります。

輸出にて商機のある良い材が作れるようになれば、貿易に携わってきた経験を活かし、木材の輸出に挑戦できると考
えています。

②バイオマス燃料・炭の生産と販売について
間伐に際して出る端材、廃材も余すことなくバイオマス燃料や炭材に変えて、少しでも炭素を出さない仕組みの自伐型
林業の形を作りたいと考えております。

特に取り組みたいのは端材、廃材でのバイオ炭の生産と販売です。バイオ炭を農家様へ販売することにより、農家様は
Jクレジットの炭素量取引に使用でき、私の目的である『炭素を固定化する』ということが叶うためです。

企業や大学の研究機関等で情報収集を行いながら、市の関係者様と連携し、『養父市モデル』と呼ばれような自伐型林
業から域内で炭素を固定化、炭素量取引で域外から資金が流入する仕組みと実績が作れば良いと考えています。

③災害対策
林道の作成、間伐はもちろん取り組んでいきますが、炭の保水力にも注目しております。木炭の表面積は重量以上の表
面積があると聞いております。

生産した炭の容積量を利用して土壌の保水力を上げ、水害などの自然災害を減少することに寄与できる研究と開発に取
り組む事が出来ればと考えています。

具体的には定住することになるため、30年間の長期計画で考えています。

起業後、5年以内に自伐型林業単体で資金面も含めて生活基盤を作り上げ、若者がやりたい職業として『自伐型林業』をメ
ジャーにする。

起業から10年以内で養父市モデルを完成させ、市内の自伐林家を増やし、市内の雇用、域外への波及効果をもたらし、他地域の課題・問題解決の参考となるような取り組みをつくる。

10年以後は後継育成に組み込みたいと考えています。夢だけで言いますと、子達が自分の手掛けた山を引き継ぎたいと
思い、自伐型林業を職業として選んでもらえれば理想だと考えています。

〇ライフスタイルについて

住環境については歴史のある住居が空き家として残っておりますので、使用できる部分を残し、リノベーションして住
みたいと考えております。

自然に囲まれ、近くにスキー場などがあることから休日はその環境を存分に楽しみたいと考えています。学生時代の
趣味のウィンタースポーツを家族で出来ればうれしい限りです。

最後になりますが、『地域おこし協力隊』を卒業した後は、養父市の『地域発信主力隊員』として長きにわたり、活躍
できたいと思っています。

※応募用紙に記載された個人情報は、個人情報保護条例に基づき厳正に管理します。

※募集を何で知りましたか。
☐養父市ホームページ ☐JOINホームページ ☒SMOUTホームページ ☐新聞等
☐その他（ ）

②バイオマス燃料・炭の生産と販売について
間伐に際して出る端材、廃材も余すことなくバイオマス燃料や炭材に変えて、少しでも炭素を出さない仕組みの自伐型
林業の形を作りたいと考えております。

特に取り組みたいのは端材、廃材でのバイオ炭の生産と販売です。バイオ炭を農家様へ販売することにより、農家様は
Jクレジットの炭素量取引に使用でき、私の目的である『炭素を固定化する』ということが叶うためです。

企業や大学の研究機関等で情報収集を行いながら、市の関係者様と連携し、『養父市モデル』と呼ばれような自伐型林
業から域内で炭素を固定化、炭素量取引で域外から資金が流入する仕組みと実績が作れば良いと考えています。

③災害対策
林道の作成、間伐はもちろん取り組んでいきますが、炭の保水力にも注目しております。木炭の表面積は重量以上の表
面積があると聞いております。

生産した炭の容積量を利用して土壌の保水力を上げ、水害などの自然災害を減少することに寄与できる研究と開発に取
り組む事が出来ればと考えています。



間伐した材木の林地残材の枝を集積、無煙炭化機でバイオ炭を製造。
自身の畑に施用し炭素固定を行う。
2024年5月に日本バイオ炭普及会よりバイオ炭品質証明書を取得。
貯蔵した炭については立命館バイオ炭コンソーシアムが広く集めてカーボンクレ
ジットとして管理、販売を行うが市場価格と乖離や、
制度設計段階とうこともあり、なかなか機能せず、
頓挫中。
しかしながら、
バイオ炭製造に関してのノウハウを身に着けたため、
来るべきタイミングがくれば製造可能。



2024年、
但馬地方
では初！！



To Twenty Two century

活動報告～志望書類 活動終了後の自分～

③ 活動終了後の自分（養父市での起業、就業等について、考え方を記入ください。）
○起業について
起業後の取組は3つで考えております。 ①自伐型林業 ②バイオマス燃料・炭の生産と販売 ③災害対策になります。
①自伐型林業について 自伐型林業にて市の斡旋を受けて任された山で間伐、林道の作成に動じたいと考えております。
一人で出来ない作業も多いかと存じます。仲間を集めて一緒に取り組み、任された山を長期的に手入れし、良い木が育ち、出できる森林に育てたいと考えています。
市場に出た材で山主様の収入として貢献したく考えております。日本の木材は中国や台湾などで人気があるため、海外へ輸出されると思います。
輸出にて商機のある良い材が作れるようになれば、貿易に携わってきた経験を活かし、木材の輸出に携われることができると考えています。
②バイオマス燃料・炭の生産と販売について 間伐に際して出る端材、廃材も余すことなくバイオマス燃料や炭材に変えて、少しでも炭素を出さない仕組みの自伐型林業の形を作りたいと考えております。
特に取り組みたいのは端材、廃材でのバイオ炭の生産と販売です。バイオ炭を農家様へ販売することにより、農家様は「クレンジットの炭素量取引」に使用でき、私の目的である「炭素を固定化する」ということが叶うためです。
企業や大学の研究機関等で情報収集を行いながら、市の関係者様と連携し、『養父市モデル』と呼ばれるような自伐型林業から域内で炭素を固定化、炭素量取引で域外から資金が流入する仕組みと実績が作れれば良いと考えています。
③災害対策 林道の作成、間伐はもちろん取り組んでいきますが、炭の保水力にも注目しております。木炭の表面積は重量以上の表面積があると聞いております。
生産した炭の容積量を利用して土壌の保水力を上げ、水害などの自然災害を減少することに寄与できる研究と開発に取り組むのが出来ればと考えています。
具体的には定住することになるため、30年間の長期計画で考えています。
起業後、5年以内に自伐型林業単体で資金面も含めて生活基盤を作り上げ、若者がやりたい職業として『自伐型林業』をメジャーにする。
起業から10年以内で養父市モデルを完成させ、市内の自伐林業家を増やし、市内の雇用、域外への波及効果をもたらす、他地域の課題・問題解決の参考となるような取り組みをつくる。
10年以後は後輩育成に取り組むたいと考えています。夢だけで言いますと、子達が自分の手掛けた山を引き継ぎたいと思います。自伐型林業を職業として選んでもらえれば理想だと考えています。
○ライフスタイルについて
住環境については歴史のある住居が空き家として残っておりますので、使用できる部分を残し、リノベーションして住みたいと考えております。
自然に囲まれ、近くにスキー場などがあることから休日はその環境を存分に楽しみたいと考えています。学生時代の趣味のウィンタースポーツを家族で出来ればうれしい限りです。
最後になりますが、『地域おこし協力隊』を卒業した後は、養父市の『地域発信主力隊員』として長きにわたり、活躍できれば嬉しい限りです。
※応募用紙に記載された個人情報は、個人情報保護条例に基づき厳正に管理します。
※募集を何で知りましたか。
<input type="checkbox"/> 養父市ホームページ <input type="checkbox"/> JOINホームページ <input checked="" type="checkbox"/> SMOUTホームページ <input type="checkbox"/> 新聞等
<input type="checkbox"/> その他（ ）

起業後、5年以内に自伐型林業単体で資金面も含めて生活基盤を作り上げ、若者がやりたい職業として『自伐型林業』をメジャーにする。
起業から10年以内で養父市モデルを完成させ、市内の自伐林業家を増やし、市内の雇用、域外への波及効果をもたらす、他地域の課題・問題解決の参考となるような取り組みをつくる。
10年以後は後輩育成に取り組むたいと考えています。夢だけで言いますと、子達が自分の手掛けた山を引き継ぎたいと思います。自伐型林業を職業として選んでもらえれば理想だと考えています。



自伐型林業単体での生活基盤

広谷区山林、宮本区山林を中心に施業、作業道開設(目安1,500m)・間伐(目安5ha)を継続的に行い、材木の販売についても市場や木質バイオマス発電のチップ材として販売に頼るだけではなく、高く販売できる方法を確立していきたいと考えています。

他の生活基盤

林業の経験や道具を生かした支障木伐採、剪定、草刈りやの施業。
地域商社としての養父市特産品の販売。
前職のキャリアを生かしての顧問。

To Twenty Two century

活動報告～志望書類 活動終了後の自分～

③ 活動終了後の自分（養父市での起業、就業等について、考え方を記入ください。）
○起業について
起業後の取組は3つで考えております。 ①自伐型林業 ②バイオマス燃料・炭の生産と販売 ③災害対策になります。
①自伐型林業について 自伐型林業にて市の斡旋を受けて任された山で間伐、林道の作成に動じみたいと考えております。
一人で出来ない作業も多いかと存じます。仲間を集めて一緒に取り組み、任された山を長期的に手入れし、良い材が産出できる森林に育てたいと考えています。
市場に出た材で山主様の収入として貢献したく考えております。日本の木材は中国や台湾などで人気があると聞いております。
輸出にて商機のある良い材が作れるようになれば、貿易に携わってきた経験を活かし、木材の輸出に挑戦できればと考えています。
②バイオマス燃料・炭の生産と販売について 間伐に際して出る端材、廃材も余すことなくバイオマス燃料や炭材に変えて、少しでも炭素を削減したいと考えています。自伐型林業の形を作りたいと考えております。
特に取り組みたいのは端材、廃材でのバイオ炭の生産と販売です。バイオ炭を農家様へ販売する「バイオ炭の炭素量取引」が「炭素の固定化」に使用でき、私の目的である「炭素を固定化する」ということが実現できればと考えています。
企業や大学の研究機関等で情報収集を行いながら、市の関係者様と連携し、『養父市モデル』のような自伐型林業から炭素を固定化、炭素量取引で域外から資金が流入する仕組みと実績が作れるように考えています。
③災害対策 林道の作成、間伐はもちろん取り組んでいきますが、炭の保水力にも注目しております。炭の表面積は重量以上の表面積があると聞いております。
生産した炭の容積量を利用して土壌の保水力を上げ、水害などの自然災害を減少することに寄与できる研究と開発に取り組む事が出来ればと考えています。
具体的には定住することになるため、30年間の長期計画で考えています。
起業後、5年以内に自伐型林業単体で資金面も含めて生活基盤を作り上げ、若者がやりたい職業として『自伐型林業』をメジャリーにする。
起業から10年以内で養父市モデルを完成させ、市内の自伐林業家を増やし、市内の雇用、域外への波及効果をもたらす。他地域の課題・問題解決の参考となるような取り組みをつくる。
10年以後は後継育成に取り組むと考えています。夢だけで言いますと、子達が自分の手掛けた山を引き継ぎたいと思います。自伐型林業を職業として選んでもらえれば理想だと考えています。
○ライフスタイルについて
住環境については歴史のある住居が空き家として残っておりますので、使用できる部分を残し、リノベーションして住みたいと考えております。
自然に囲まれ、近くにスキー場などがあることから休日はその環境を存分に楽しみたいと考えています。学生時代の趣味のウィンタースポーツを家族で出来ればうれしい限りです。
最後になりますが、『地域おこし協力隊』を卒業した後は、養父市の『地域発信主力隊員』として長きにわたり、活躍できれば嬉しい限りです。
※応募用紙に記載された個人情報は、個人情報保護条例に基づき厳正に管理します。 ※募集を何で知りましたか。 <input type="checkbox"/> 養父市ホームページ <input type="checkbox"/> JOINホームページ <input checked="" type="checkbox"/> SMOUTホームページ <input type="checkbox"/> 新聞等 <input type="checkbox"/> その他（ ）

○ライフスタイルについて
住環境については歴史のある住居が空き家として残っておりますので、使用できる部分を残し、リノベーションして住みたいと考えております。
自然に囲まれ、近くにスキー場などがあることから休日はその環境を存分に楽しみたいと考えています。学生時代の趣味のウィンタースポーツを家族で出来ればうれしい限りです。
最後になりますが、『地域おこし協力隊』を卒業した後は、養父市の『地域発信主力隊員』として長きにわたり、活躍できれば嬉しい限りです。



古民家を購入。
母屋は明治元年(登記上)。
少しずつ改装を行っています。

家族で年、複数回ウィンタースポーツを満喫。
氷ノ山国際スキー場がホームゲレンデです。

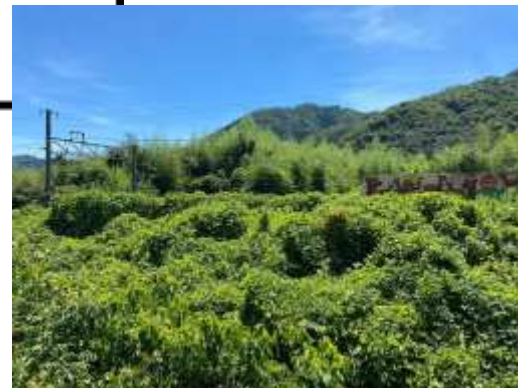


To Twenty Two century

地図でふりかえる



- ・八鹿地区
- トガ山での研修、施業
- 八鹿駅周辺の草刈り
- 八鹿青溪中学高の支障木伐採
- 小山にて支障木伐採



参照元：養父市HPより

養父市

To Twenty Two century

地図でふりかえる



- ・養父地区
- 広谷区所有山林での施業
- 猿岩周辺の支障木伐採
- 大徳醤油様敷地の支障木伐採
- 奥米地での施業
- 建屋 河川敷公園の支障木伐採
- 旧建屋子供園跡地の草刈り



参照元：養父市HPより

養父市

To Twenty Two century

地図でふりかえる



・大屋地区

若杉高原での施業

若杉川周辺の支障木伐採・草刈り

大杉での但馬やまもりの活動

笠谷での施業

天滝の登山道整備

旧口大屋小学校の支障木伐採・草刈り



参照元：養父市HPより

養父市

To Twenty Two century

数字で振りかえる

12, 419回

13, 809回

To Twenty Two century

数字で振りかえる

12,419回



13,809回



To Twenty Two century

数字でふりかえる

2024 5件

2025 107件

To Twenty Two century

数字でのふりかえる

約1,200,000円

To Twenty Two century

SPECIAL THANKS

養父市役所

やぶぐらし・地方創生課の皆様、上垣様

林業活性化センターの皆様、中尾様

土地利用未来課の皆様、濱様

商工観光課の皆様

やぶパートナーズの皆様

上垣林業 上垣秀和様、幸子様

陽だまり林業 高橋様

但馬やまもり隊の皆様

奥米地区長 足立様

広谷区代表区長 中島様

現役、OBの協力隊の皆様

筏区 大谷様、村上様

養父市観光協会局長 木村様

大徳醤油(株)社長 浄慶様

カタシマ(株)常務 廣氏様

畑特産品生産出荷組合 組合長 田和様

(株)ミキホーム社長 三木様

谷垣工務店 谷垣様

上薮崎の皆様

瀬川くん

何も言わずついてきてくれた家族

*順不同

To Twenty Two century

株式会社 T3 (ていーすりー)

事業内容

- ・林業（山間部の手入れ、木の伐採、草刈り等）
- ・地域商社（地方の名産品を都市部へ発信、販売）

取扱い実績：朝倉山椒の加工品、醤油、ポン酢、洋菓子他
問合せ

TEL 090-5017-0031

MAIL hironori.uchiyama@t3-yabu.com

自己紹介

内山 祐紀（うちやま ひろのり）

1987年 神戸市生まれ。

大学卒業後、東京の繊維専門商社(株)サンマリノに就職。営業として次長職を担当。

営業部の責任者として30名の部下を担当、売上予算 30億/ 年を管理。在職時、イタリア アシッジに事務所を設立、静岡県島田市に(株)ウールスタジオを設立。

兼ねてよりライフワークとして取り組みたかった気候変動対策を事業として行うべく、2022 年に退職、翌年より養父市地域おこし協力隊として活動。

2024年3月株式会社 T3(ていーすりー)設立。前職の経験を生かし、繊維商社の顧問もしています。

Instagram hironori_uchiyama

To Twenty Two century